EVENT

「ダイアログ・イン・サイレンス」

音のない世界で楽しむ言葉の壁を超えた「対話」

音を遮断するヘッドセットを装着して、言葉に頼らずにコミュニケーションを取る方法を発見していく90分間のプログラム。参加者は「手のダンス」「サインで遊ぶ」などの数種類の部屋で表情やジェスチャーを使ったゲームを行い、多様なコミュニケーションや人とのつながりを体感する。本プログラムは1998年にドイツで開催されて以来、世界中で100 万人以上が体験している。日本では昨年夏に初開催され、体験後のアンケートでは9 割を超える参加者が「ほかの人にも薦めたい」と回答した。共生社会の実現に向けたさまざまな取り組みが進む中、言語、国籍、性別、障害を超えたコミュニケーションのヒントを提供する。

会期: 7月29日(日)～8月26日(日)
会場:NEWoMan新宿5F「LUMINE 0」
東京都渋谷区千駄ヶ谷5-24-55
11時スタートから19時半スタートの回まで、1日20回開催予定(体験時間約90分)、各回定員12名、要予約
＊開催時間の詳細は公式ホームページ内の予約ページでご確認ください
https://www.dialogue-in-silence.jp/

MOVIE

「ベトナム映画祭 2018」

日越国交樹立45周年 旧作・最新作を一挙上映！

ベトナムと日本の国交樹立45周年を記念して映画祭が開かれる。9月1日（土）から9日（日）までの期間、神奈川県庁周辺で特集上映やシンポジウムを開催し、その後各地の映画館で上映される。作品の選考には映画評論家として評価が高い佐藤忠男が参加。ニューヨークを舞台にベトナム系移民の世代間ギャップや郷愁を描いた『ベトナムを懐(おも)う』のほか、ベトナム映画史に名を残す名作やベトナムで人気の最新作の上映を予定している。本企画を共催する「ベトナムフェスタin神奈川」では9月9日までの期間中、映画に限らずさまざまなプログラムを通じた文化交流の機会も提供する。

会期:9月1日(土)～
会場:シネマ・ジャック&ベティ(横浜)、ケイズシネマ(新宿)、シネマスコーレ(名古屋)、シネ・ヌーヴォ(大阪)
問い合わせ:ベトナム映画祭2018実行委員会
TEL:03-3584-6237
https://www.facebook.com/vietnamff2018/

『ベトナムを懐う』(2017年、グエン・クアン・ズン監督、アルゴ・ピクチャーズ配給)

新着情報 イチオシ！

BOOK

『イネの大百科』

数千年の時間軸と地球大のスケールで描く「イネ」

作物としてのイネにフォーカスした大型本、全56ページ。「栽培イネの起源と伝播の歴史」「日本の稲作　年中行事と農耕儀礼」「アフリカ、欧米、オーストラリアの稲作」「さまざまなごはんの炊き方」「イネは食料問題への切り札になるのか?」など、雑学的なものから地球規模の問題まで、幅広いテーマを豊富な写真やグラフとともにわかりやすくまとめている。「付加価値の高い稲作、地域とつながる稲作にむけて」の節では、農村の観光地化やコメを使った商品開発など、新しい農業に向けた日本国内のさまざまな取り組みを概観する。巻末には索引があり、実用性も高い。対象読者を小学校高学年～高校生としているが、大人が読んでも楽しく学べる「イネの大百科」だ。

堀江武 編
農文協
3,780円（税込）

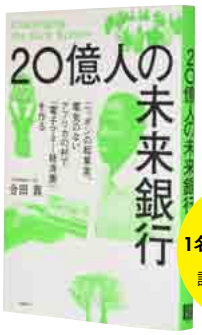
この本を1名様にプレゼント
▼詳細はp.38へ

BOOK

『20億人の未来銀行』

電気のないアフリカの村で「電子マネー経済圏」を作る

世界に約20億人いる“金融難民”に「新しい仕組みの銀行」を提供する――本書は、そんな前代未聞の構想を実現するためにモザンビークで事業を展開する起業家の仕事録。著者がこの仕組みづくりの前後で学んだ「お金の歴史」や、現代のグローバル経済が抱える問題点などを記している。もともとはバイオ燃料の販売から始まった筆者の事業だったが、それが日本では想像もできないような出来事が重なったことで多角化し、「新しい仕組みの銀行」構想が生まれていく過程は非常にエキサイティング。著者を突き動かすのは「世の不条理をなくしたい」という強い思いだ。悪戦苦闘しながら事業に取り組むその言動は、同じ理想を持つ多くの人々を勇気づけるだろう。



合田真 著
日経BP社
1,620円（税込）

この本を1名様にプレゼント
▼詳細はp.38へ